

# 岩手県における障がい者雇用事例

## 社会福祉法人 修倫会

(平成26年度 岩手県知事表彰)

～ 日々努力を怠らず、前へ前へと進めていきます ～

社会福祉法人修倫会は、障がい者の雇用及び障がい者が働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいることから、平成26年度に障がい者の雇用優良事業所岩手県知事表彰を受賞しました。

今回、同法人が運営している多機能事業所（就労継続支援A型事業+就労移行支援事業）「あすリード本舗」を訪問し、施設長の田代 順さんと 副施設長の古舘哲雄さんにお話を伺いました。



### 社会福祉法人 修倫会

【事業所所在地】

久慈市長内町18-14-3

【事業内容】

社会福祉事業

【職員数】

85名 (H26.12.31現在)

うち障がい者31名 (うち重度15名)

### ◆ 障がい者雇用の経緯、背景

社会福祉法人修倫会は平成3年11月に設立、翌年4月に身体障がい者授産施設「松柏園」（現：就労継続支援B型事業所「松柏園」）、平成7年4月に知的障がい者授産施設「みずき園」（現：就労継続支援B型事業所「みずき園」）を開所。平成11年4月に11名を雇用して知的障がい者福祉工場「福祉工場みずき」（現：多機能事業所「あすリード本舗」）を開設したことを皮切りとして本格的に障がい者雇用を進め、現在は28名の障がい者を雇用、法人全体としては31名の方を雇用しています。

同法人では、平成19年4月に、県の指定により久慈地域障害者就業・生活支援センター「チャレンジドセンター久慈」を開所し、就業と生活両面の支援を強化。また、グループホームを運営し、障がいのある方が地域で自立できる環境づくりに取り組んでいます。

### ◆ 障がい者が従事している作業内容と雇用に関して工夫していること

今回訪問した「あすリード本舗」の名称は、「アスリート（スポーツ選手）のように快活で、常に前向きに努力し、明日に向かって躍進する会社」という意味が込められています。

障がいのある方が従事している作業内容は、主に食料品製造で、中華麺、かりんとう、煎餅など、地元業者とタイアップした製品作りや、地元食材を活用した独自の商品開発も積極的に行っています。

「雇用する際には、実習の段階から、『働く場所である』という意識付けをしてもらうために、導入部分に時間をかけています。本人とはもちろん、家族との信頼関係を構築していくことも必要です。」【田代 施設長】

「いろいろな作業をやってみて適性を見つけ、向いている仕事につくことが大事です。」【古舘 副施設長】

集中して働く勤務時間と、周囲と楽しくコミュニケーションをとる時間との切り替えが、しっかりできている職場だという印象を受けました。

また、旅行会やボーリング大会などの職場のレクリエーションでは、可能な限り障がいのある方々に任せて実施しているとのことで、そのようなことを通じて、それぞれの自主性が培われているそうです。

### ◆ 障がい者が雇用されるために必要なこと

「何か目標を持って働かないと、なかなか仕事をする気になれないと思います。やりたい事がある、買いたい物があるなど、そういうことでいいので、働くことに目的を持つことが必要です。」【古舘 副施設長】

### ◆ 就労を希望している障がい者へのメッセージ

「困ったことがあったら、一人で抱え込まないこと。悩み事とか、失敗したことを周りに伝えられなくて隠していると、問題が大きくなってしまいます。家族でも職場の人でもいいので、『何かあったら相談できる人』を作っておきましょう。

障害者就業・生活支援センターに登録しておく、家族や職場の人に相談しづらい事でも親身になって対応してくれますので、いざという時に頼りになります。」【田代 施設長】

(取材：雇用対策・労働室)